

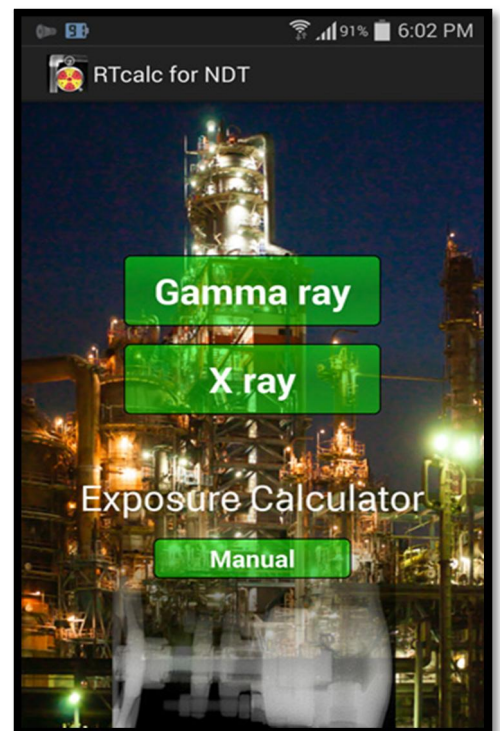
# RTcalc for NDT

## 対応機種

Android OS 2.3.3 以上を搭載したスマートフォン、タブレット

英語と日本語に対応

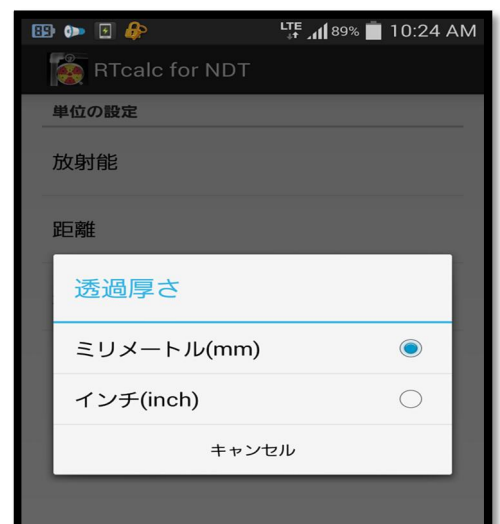
「Manual」ボタンのクリックでウェブサイトの説明書にリンクしています。



## 単位の設定

オプションメニューをタップして、単位の設定画面から放射能・距離・透過厚さの単位を設定します。

- 放射能 :GBq Ci
- 距離 :cm inch foot
- 透過厚さ :mm inch



## ガンマ線

1. 核種を選択する。(Se-75,Ir-192,Co-60)
2. 購入日(検定日)を入力します。
3. 購入時の GBq数を入力し、「計算」ボタンをクリックすれば、現在の GBq数が表示される。次回起動時には自動で減衰した値が計算されます。(線源交換後は再設定・再計算の必要がある)
4. フィルムメーカー、フィルムタイプを選択して、濃度を指定する。これらの設定値は記憶され、次の起動時からデフォルトとなります。
5. 線源-フィルム間距離をセンチメートル(cm)単位で入力します。
6. 指定した濃度としたい部分の透過厚さを入力する。二重壁撮影の場合は2倍の厚さになるので注意すること。
7. 図の赤い矢印「Sch」ボタンをクリックすれば、配管スケジュール表が表示されます。表は、透過厚さの単位設定に対応して mm(JIS)と inch(ANSI)が自動的に切り替わります。
8. 「照射時間の計算」ボタンで、最適な照射時間が表示されます。



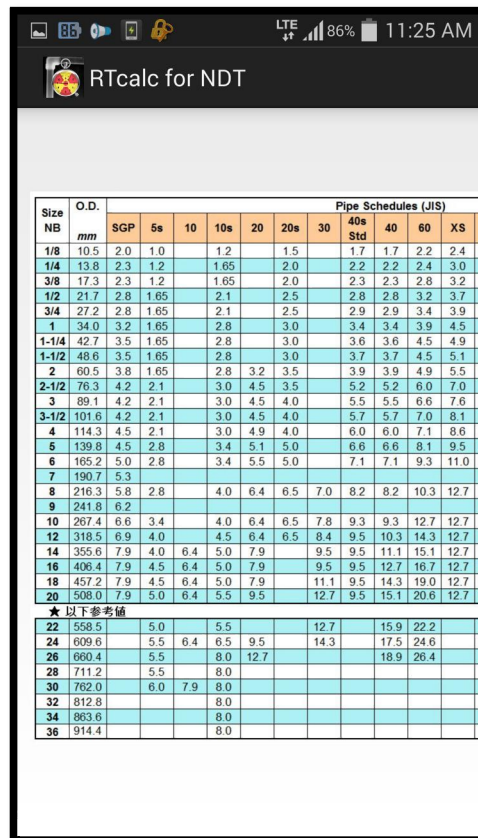
### タイマー機能

「timer START」ボタンで、計算された照射時間からカウントダウンタイマーが起動します。

「STOP」ボタンでカウントダウンを中止し、最初の時間に戻ります。

時間がゼロになると、アラームが5秒間鳴ります。

タイマーは、端末がスリープ状態でも動作を続けます。



## エックス線

1. エックス線装置メーカーを選択します。
  2. 装置の型式を選択します。
  3. 管電流が可変であればスライダーが移動できるので、管電流を設定します。デフォルトでは最大管電流に設定されています。
  4. フィルムメーカーとフィルムのタイプを選択します。
  5. 設定厚さでのフィルム濃度を、スライダーを操作して指定します。
  6. 焦点-フィルム間距離をセンチメートル(cm)で入力します。
  7. 先に設定した濃度となるべき箇所の透過厚さ(mm)を入力します。
- 時間を指定して管電圧を求める  
時間はデフォルトで 1.0 分となっているので、左側の「時間⇒管電圧」ボタンをクリックして管電圧を求めます。
  - 管電圧を指定して時間を求める  
管電圧を指定して(通常は最大管電圧)、右側の「管電圧⇒時間」ボタンをクリックして時間を求めます。

図の赤い矢印部分をダブルタップすることで、デフォルトの値が表示されます。

- 管電流: 最大管電流(可変装置の場合)
- 濃度: 2.0 (ガンマ線は 2.5)
- 時間: 1.0(分)
- 電圧: 最大管電圧

「Erase」ボタンは、距離・透過厚さ・電圧欄をクリアし、時間を 1.0 に戻します。

## ダウンロード・購入先

Google Play のサイトから購入できます。

「RTcalc」で検索すればヒットします。

